

千里ライフサイエンスフォーラム開催のお知らせ

2024年6月フォーラム(第368回)

- **開催日時**：2024年6月10日(月) 18時00分～19時00分
※終了後19時00分～20時00分に懇親会を実施します。
- **開催形式**：千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームAにて会場参加と講演収録。後日約1カ月録画配信
- **配信対象**：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)
会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信
- **講師**：松崎 典弥 先生
大阪大学大学院工学研究科 応用化学専攻 教授
- **テーマ**：「3Dプリントによる医療・食品分野の変革」
- **講演要旨**：

3Dプリンターとは、3次元的なデジタルモデルを基にして、現実の物体を作り出すことができる装置のことであり、積層造形装置、付加製造装置、アディティブマニュファクチャリング(AM)装置と呼ばれる。これまで困難であった複雑な形状を迅速に作製できるため製造業を中心に建築、教育、航空宇宙、医療、食品、先端研究など幅広いモノづくり分野で普及している。3Dプリンターでできた家やホテルなどの報道も記憶に新しい。

この3Dプリンターの出現により大きな技術変革を迎えようとしているのが医療や食品の分野である。医療分野においては、患者のCT画像を基に3Dプリンターで患部モデルを作製し、術前のシミュレーションに用いられている。また、iPS細胞由来の組織細胞をタンパク質や生体適合性ポリマーと共にプリントすることで患部に最適な形状の移植材をオーダーメイドで作製できる。一方、食品の分野では、お年寄りや障害者の方が食べやすい柔らかさの食品のゲル3Dプリントでの作製や、培養肉を3Dプリントで構築することも報告されている。

本講演では、特に医療・食品分野で3Dプリントがどのように技術革新をもたらしているか、また、将来の課題についても議論する。

● 講師プロフィール：

学歴：鹿児島大学大学院工学研究科博士後期課程修了(博士(工学))

職歴：日本学術振興会特別研究員、スウェーデンルンド大学大学院免疫工学専攻 客員研究員、大阪大学大学院工学研究科特任助手(常勤)、助教、准教授、教授(現在に至る)。JST さきがけ「界面の構造と制御」および「統合1細胞解析」領域研究者(兼任)

専門分野：高分子化学、組織工学、再生医療

主なる著書：松崎典弥、3D-プリントによる和牛のサシを再現した培養肉の作製, *オレオサイエンス*, 日本油化学会, (2022). 松崎典弥、細胞表面の物理化学的デザインと組織工学への応用, *Acc. Mater. Surf. Res.* 9, 11-17 (2024).

主なる講演テーマ：細胞の機能制御、培養肉、3D バイオプリント

参加対象/参加費：千里ライフサイエンスクラブ会員(年会費2,000円)/ 無料

録画配信希望のお申込はご不要です。

会員以外の皆様にもお申込みいただければ3日間限定で録画配信

録画配信の準備が整い次第、視聴方法の案内メールを送らせていただきます。

申込先：公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団「千里ライフサイエンスフォーラム」担当

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2 Tel：06-6873-2006 Fax：06-6873-2002

E-mail：srlf-forum@senri-life.or.jp (HP：<https://www.senri-life.or.jp/>)